



武蔵野市は、リーダーシップを発揮する

主任教諭（小・中）

特別支援教育に精通している

特別支援学級・特別支援教室（巡回）

の先生方をお待ちしております！（予定）



武蔵野市教育委員会HP
（教員公募）
詳細は10月1日に
掲載します。

支え合うムサシノ

- 単独またはT1で教科指導や評価を行う 市講師を配置
（小学校低学年の学級担任：週22時間、中学年：週21時間、高学年：週20時間を目標）
- 部活動指導員（各中学校6名分）、学校司書、学習指導補助員など、教員を支える 多数のスタッフを配置



対話するムサシノ

- 先生方や児童・生徒の声や意見を施策に反映（学校司書の配置日数増など実現）
- 教育委員や教育委員会事務局が学校を積極的に訪問し、先生方のお話を伺います



武蔵野市は
**自他の幸せと豊かな社会を実現する
未来の創り手を育む**

を教育理念に掲げ、学校教育を推進します（※第四期武蔵野市学校教育計画より）

武蔵野市は
こんなまち!!



- ◎吉祥寺に代表される住みたいまち NO.1
- ◎コンパクトで高い商業集積と中央線3駅を軸にした交通の利便性の良さ（吉祥寺、三鷹、武蔵境）
- ◎学校や家庭を支える地域の力
- ◎高い財政力（財政力指数東京都内第1位）
- ◎学校教育と緊密な連携、充実した生涯学習（武蔵野プレイス、土曜学校、武蔵野地域5大学との連携）



～セカンドスクール～

子どもが輝く体験活動の充実

GOOD DESIGN AWARD
2015年度受賞

- セカンドスクールは、市立小学校5年生と市立中学校1年生を対象として実施している、自然豊かな農山漁村に長期宿泊を行う教育活動です。(小学校4年生にプレセカンドスクールを実施)
- 行先や内容は、児童・生徒の実態に応じて、各校で決定しています。
- 生活指導員の複数配置、先生の都合に合わせた前半・後半での教員の入れ替えなど、教員の負担軽減もあわせて行っています。



【自然を感じる森林トレッキング】



【宿の方との交流会】

～宿泊日数(訪問先)～

- 小4 2泊3日(山梨県南都留郡、東京都奥多摩町 等)
- 小5 5泊6日等(新潟県南魚沼市、長野県飯山市 等)
- 中1 4泊5日(長野県北安曇郡、新潟県十日町市 等)

先生が いきいき働ける 職場づくり

- 先生方の健康保持・増進、校務改善、子どもと向き合う時間を確保するため、先生いきいきプロジェクト2.0を推進しています。

～プロジェクトの内容例～

- 市講師の独自採用
- 部活動指導員の任用
- タイムレコーダーの設置
- 電話応答メッセージ対応の導入
- 学校閉庁日の拡大(全校で5日以上確保)
- スクール・サポート・スタッフの配置
- スクールロイヤーの導入(令和7年度より)
- 主体的な研鑽を奨励する民間団体の研究発表会等の参加費補助

教員アンケートでは、「在校時間が減り、ライフ・ワーク・バランスが推進された」という肯定的な回答が年々増えています!



～武蔵野市民科～

まちや社会と向き合う学び

- 武蔵野市では「自己を確立し、目標達成に向けて協力したり、進んで社会に関わろうとする」市民性を高める教育を進めています。
- 特に小学校第5学年から中学校第3学年まで、武蔵野市民科として総合的な学習の時間を中心に教科等横断的にカリキュラムを編成し、探究的な学びに取り組んでいます。

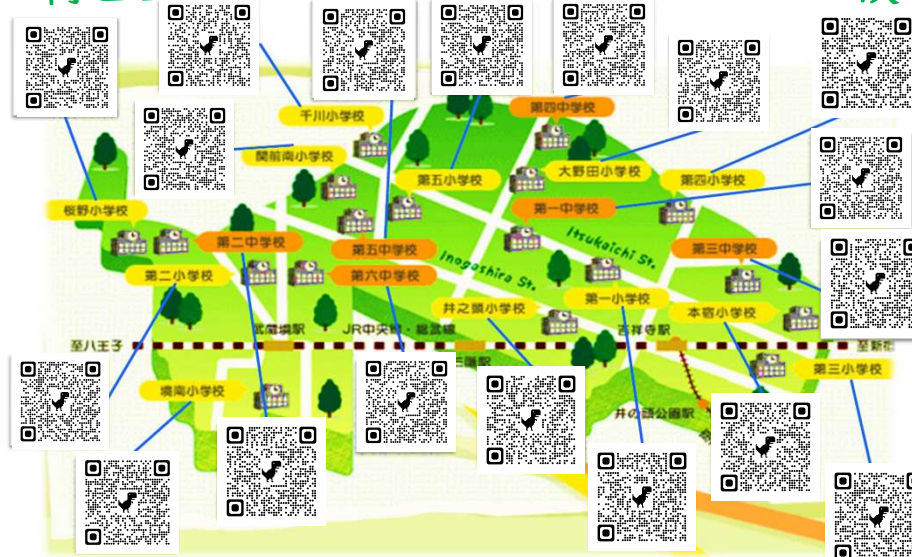


【地域の商店会等の方々と連携し、駅前を彩るイルミネーションをデザイン・作成・発信(小学校)】



【自分たちが考えた市の課題解決策を市長に提言(中学校)】

特色豊かな 小学校12校・中学校6校



家庭・地域に 開かれた 学校づくり

- 令和7年度から、学校運営協議会機能をもつ開かれた学校づくり協議会を全校に設置。20代の大学生から60代の地域住民まで多様な委員が参画し、1年間を通じた熟議を重ねています。(CS枠での教員募集も行う予定)

- 平成28年度から地域コーディネーターを全校に配置。PTA、地域の団体等と協力し、武蔵野市民科や生活科、職場体験学習など、学校の教育活動を支える人材の学校への情報提供と、連絡調整を進めています。



【開かれた学校づくり協議会での熟議】